

(4) 消費者理解の醸成

消費者等の理解の醸成

- ・平成17年度から国民運動として、「木づかい運動」を展開し、木材利用の意義や木材の良さについて、消費者や企業等にわかりやすく、直接訴えるなど集中的な普及啓発を推進。
- ・国産材の大幅な需要増加につなげるため、「木づかい運動」を拡大し、企業等と連携しつつ、木材の環境貢献度の高さを切り口としたマーケティングを展開。また、国産材の利用に係る省CO2効果等の「見える化」を推進。

■ 木づかい運動ロゴマークを通じた普及啓発活動

- ・木づかいに関心の高い企業同士の交流を図り、ビジネスチャンスを拡大。
- ・平成23年8月現在、277の企業・団体がマークを使用登録。



木づかいサイクルマーク

■ 「木づかい運動」の拡大

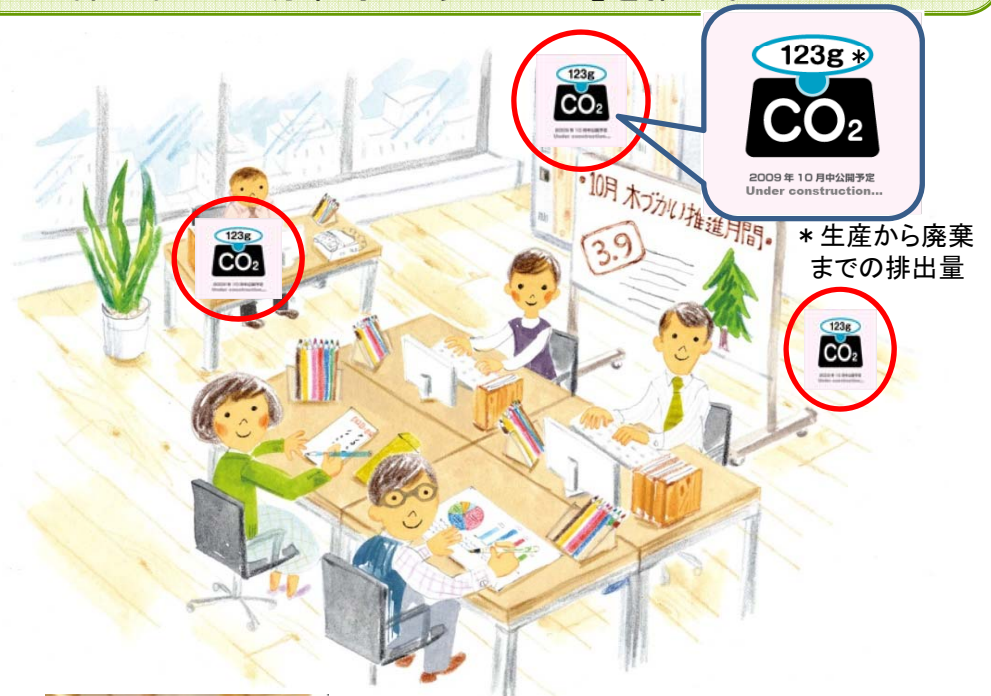
- ・NPO・企業をネットワーク化し、環境貢献度の明確な製品の利用を企業に働きかける活動を展開。
- ・森林整備への寄付金付きの商品など、消費者の環境意識に直接働きかける手法を検討。

■ 「木育」の推進

- ・文部科学省などと連携しつつ、木育を推進。

■ カーボンフットプリント等「見える化」、LCAの推進

- ・カーボンフットプリント制度の構築に向け、「カーボンフットプリント制度試行事業」を実施。算定・表示のルールとなるPCR（商品種別算定基準）について、①製材、合板、集成材等の「木材・木質材料」、②フローリング、木製雑貨等の「木製製品」の2つのPCRが認定・公表（平成23年3月）。
- ・木材製品の炭素貯蔵効果、間伐材製品利用による間伐への貢献効果の算定・表示手法を検討。



木づかい運動ポスター



木育キャラバン(島根県)

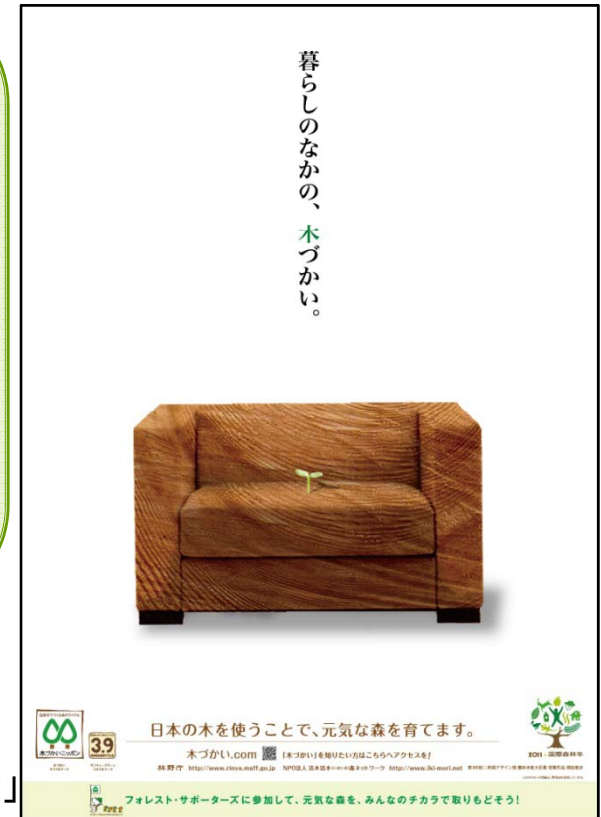
木づかい運動について

国産材利用の意義を広め、需要拡大につなげていくため、平成17年度から国民運動として「木づかい運動」を展開

- ・ポスター等による広報活動やシンポジウム・イベントの開催、木づかい感謝状の贈呈等
- ・「木育」の推進

「木づかい運動」に関するロゴマークを国産材製品やパンフ等に添付し、国産材の利用をPR

- ・木づかい企業・団体数：277社（平成23年8月現在）



平成23年度木づかい運動ポスター
二科展デザイン部テーマポスター
「2011・国際森林年」部門
農林水産大臣賞受賞作品
(作者:周田春奈)



旧ロゴマーク
「サンキュグリーン
スタイルマーク」



新ロゴマーク
「木づかいサイクルマーク」



国産材製品

地域材利用を促進するマーケティング手法の開発

- ・パルシステム生活協同組合連合会において、地域材の利用推進に向け、寄付金やポイントを活用したなマーケティング手法について調査。
- ・「未来につなげる森づくり」キャンペーンとして、カタログ「イキル・道具」秋号にて森林整備寄付金付き、ポイント付き地域材利用製品を販売し、購入者に対しアンケートを実施。
- ・アンケート調査では「寄付金付き商品」への関心が「ポイント付き商品」を大きく上回り、東日本大震災の影響もあり消費者が何らかの形で社会貢献に役立ちたいと考える傾向が見られた。
- ・寄付金やポイント付与を付けたことによる、商品購入へのインセンティブ効果については、分析中。

【第1弾】森林整備寄付金付き地域材利用製品

バターナイフ付き

¥80が寄付金に

直接バターを入れて使用。冷蔵庫に入れても堅くなりくい。

引き出しの中をすっきり整理。

さくらのバターケース(バターナイフ付き)
注文番号 **158372** ¥2,980(税抜¥2,839)

●サイズ:ケース/約9.7×14.7×高5.4cm、ナイフ/約15cm ●重量:ケース/約260g、ナイフ/約5g ●材質:ケース/さくら(みつろう仕上)、ナイフ/ひのき ●メーカー:(株)土佐龍 ●生産国:日本
散らかりがちな引き出しをすっきり整理。カトラリーにやさしい杉の木で作った仕分けケース。
※天然素材のため、色・サイズが多少異なることがあります。食器洗浄機使用不可。

FSC認証杉のカトラリー整理ケース
注文番号 **158518** ¥2,980(税抜¥2,839)

●サイズ:約32×25×高4cm ●重量:約380g ●材質:杉 ●メーカー:(有)あゆみ木工 ●生産国:日本
散らかりがちな引き出しをすっきり整理。カトラリーにやさしい杉の木で作った仕分けケース。
※天然素材のため、色・サイズが多少異なることがあります。

売上金の一部を森林整備へ寄付
このマークの付いている商品は、売上金の一部を右記の森林組合へ寄付いたします。今回、国産木材製品のご購入によって集まった寄付金は、それぞれの森林組合で間伐などの森林整備活動に役立ちます。

- 高知県高岡郡四万十町:大正町森林組合
- 青森県青森市:青森県木材協同組合
- 静岡県静岡市:社団法人 静岡県緑化推進協会

【第2弾】ポイント付き地域材利用製品

バターナイフ付き

80ポイント

直接バターを入れて使用。冷蔵庫に入れても堅くなりくい。

引き出しの中をすっきり整理。

さくらのバターケース(バターナイフ付き)
注文番号 **158372** ¥2,980(税抜¥2,839)

●サイズ:ケース/約9.7×14.7×高5.4cm、ナイフ/約15cm ●重量:ケース/約260g、ナイフ/約5g ●材質:ケース/さくら(みつろう仕上)、ナイフ/ひのき ●メーカー:(株)土佐龍 ●生産国:日本
散らかりがちな引き出しをすっきり整理。カトラリーにやさしい杉の木で作った仕分けケース。
※天然素材のため、色・サイズが多少異なることがあります。食器洗浄機使用不可。

FSC認証杉のカトラリー整理ケース
注文番号 **158518** ¥2,980(税抜¥2,839)

●サイズ:約32×25×高4cm ●重量:約380g ●材質:杉 ●メーカー:(有)あゆみ木工 ●生産国:日本
散らかりがちな引き出しをすっきり整理。カトラリーにやさしい杉の木で作った仕分けケース。
※天然素材のため、色・サイズが多少異なることがあります。

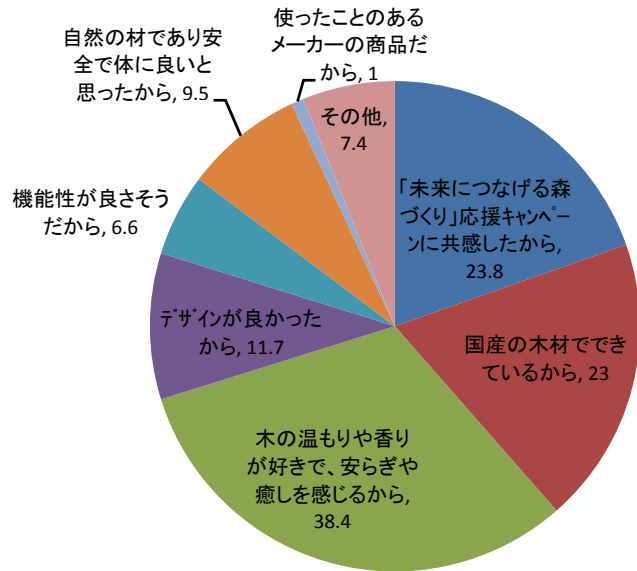
国産木材利用商品でポイントが貯まる!
このマークが付いた商品は、購入点数分、表示のポイントが付与されます。

地域材利用を促進するマーケティング手法の開発（消費者アンケートの概要）

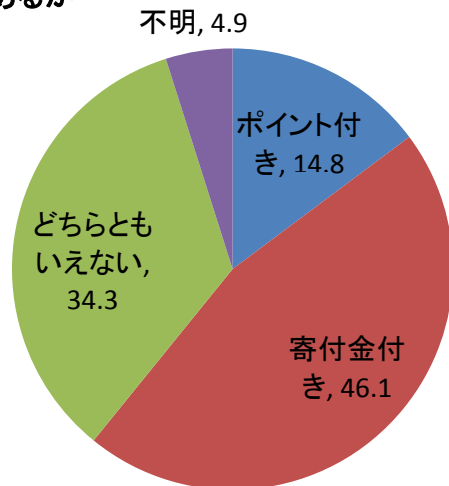
地域材利用製品購入者へのアンケート集計結果 【アンケート発送数:868 アンケート回答者数:677】

※問いにより回答率が異なる

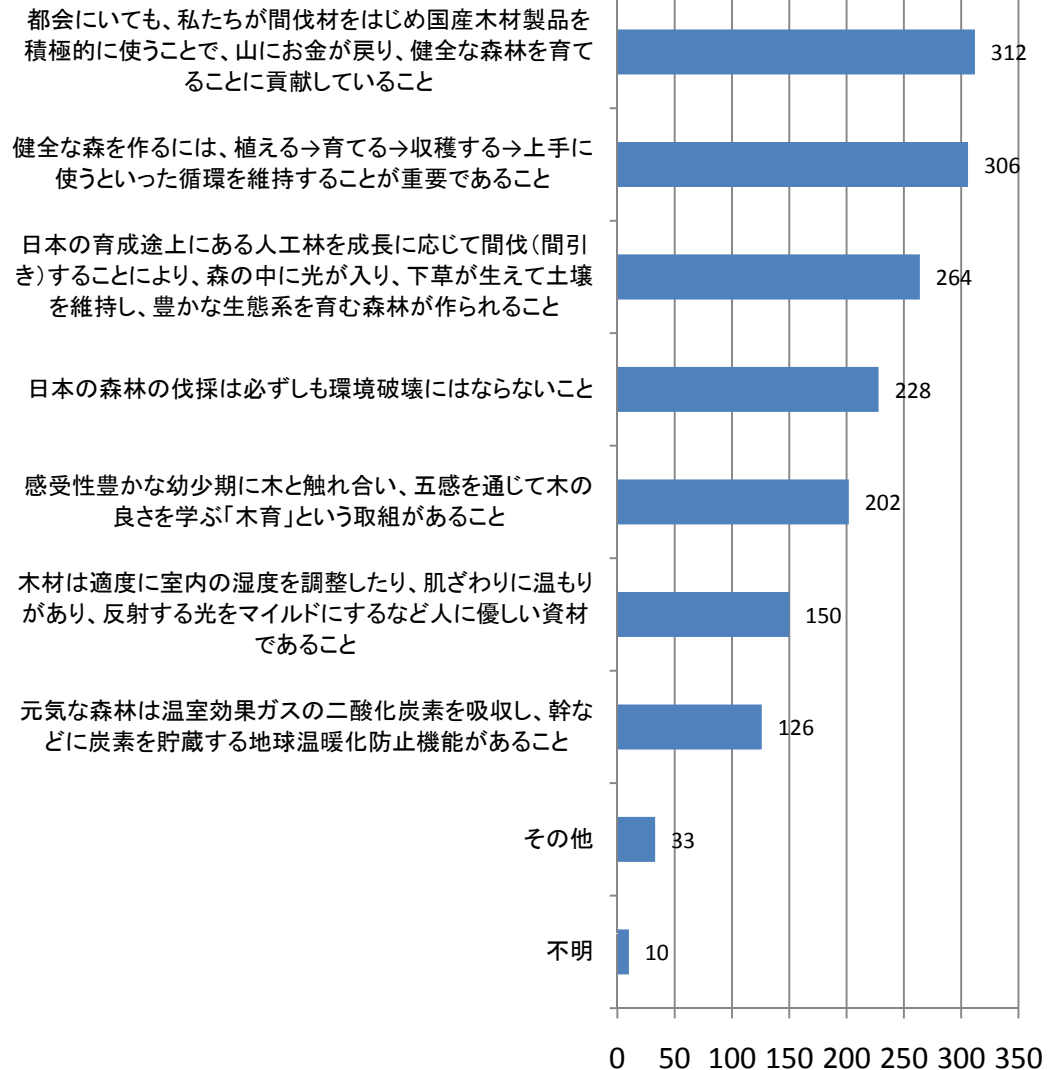
■国産材製品の購入の理由は



■製品を購入する際に、ポイント付きと寄付金付き商品のどちらに関心があるか



■「未来につなげる森づくり」応援キャンペーンで国産材について初めて知ったこと、より理解が深まったことはどのようなことか(重複回答)



「木づかい運動」の主なイベント①

2011年は国際森林年として、「木づかい推進月間」と連携した、「木づかい運動」の様々なイベントを集中的に展開。

木づかい運動情報 ⇨

林野庁HP(<http://www.rinya.maff.go.jp/j/kidukai/index.html>)
木づかい.com(<http://www.kidukai.com/>)

国が関与した主なイベント



[実績]

- ・ 農林水産省消費者の部屋「木づかいと木育」特別展示(9月28日～10月3日)
- ・ 木づかいWeek2011(10月17日～22日)
港区長・林野庁長官対談、木づかい見本市、木づかいビジネスセミナー等
- ・ 木づかいシンポジウム・木づかい運動感謝状表彰式(10月18日)
テーマ:「東日本大震災の復興を木づかいで応援しよう」、異業種交流パネルディスカッション
- ・ 森とめぐみの子供博2011(11月5日～6日)
- ・ 2011国際森林年記念「木づかい」シンポジウム(11月9日)
テーマ:身近な暮らしから木づかいを考える
- ・ 東日本大震災復興支援「日比谷ライブ&マルシェ」(11月12日～14日)
- ・ 「森の恵みにふれあうフェア」in有楽町(11月26日～27日)
- ・ 木育キャラバンin熊本(12月10日～11日)
- ・ エコプロダクツ2011展示場内「森林からはじまるエコライフ展」(12月15日～17日)

「木づかい運動」の主なイベント②

地方自治体、民間団体主催の主なイベント

- ・ 第24回ウッドフェスティバル2011(10月8日～9日)【主催:香川県木材需要拡大協議会】
- ・ とやま木づかいフェア(10月8日～9日)【主催:とやま木づかいフェア実行委員会、富山県、富山県木材組合連合会】
- ・ 山と木と緑のフェア2011第24回とくしまWOODわくわく祭(10月9日～10日)【主催:山と木と緑のフェア実行委員会】
- ・ 第41回建築総合展NAGOYA2011(10月13日～15日)【主催:愛知県集成材工業協同組合】
- ・ みやぎ木づかい運動2011(10月15日～16日)【主催:みやぎまるごとフェスティバル実行委員会その他】
- ・ 第26回ひょうご木材フェア(10月16日)【主催:兵庫県木材利用推進会】
- ・ 県産木材フェア(10月16日)【主催:(社)岡山県木材組合連合会、岡山県南木材需要拡大推進協議会】
- ・ 第6回がばいじゃ～もく祭り(10月16日)【主催:佐賀県木材協会、(株)伊万里木材市場】
- ・ 林業まつり(10月22日～23日)【主催:仙南中央森林組合】
- ・ グリーンフェスティバル2011(10月22日)【主催:茨城県、(社)茨城県林業協会、(社)茨城県緑化推進機構】
- ・ 大分県農林水産祭(10月22日～23日)【主催:大分県】
- ・ えひめおもちゃミュージアム(10月22日～12月2日)【主催:愛媛県、イヨテツケーターサービス(株)】
- ・ 憩いの森秋の緑化まつり(10月23日)【主催:北上市、岩手県緑化推進委員会北上支部】
- ・ かごしま木製品コンテスト(10月28日)【主催:鹿児島県】
- ・ かごしま木材まつり(10月29日～30日)【主催:鹿児島県】
- ・ 住田町文化産業まつり(10月30日)【主催:住田町、住田町教育委員会】
- ・ 2011国際森林年よかウッドフェスタ(11月5日)【主催:佐賀県】
- ・ 防腐合板遮音壁による街づくりセミナー(11月11日)【主催:日本合板工業組合連合会】
- ・ 杉コレクション2011in日向(11月12日)【主催:宮崎県木材需要拡大推進協議会】



地域材利用製品の開発

地域の木材を活用し、家具等の新たな木材製品の開発を行う取組を支援。

○地域材利用製品の事例



杉木ロスリット材の建具



地域材を活用した家具



モジュール型組子式収納棚



照明器具

木育について①

- 木材に触れることで木材に親しみ、木の文化への理解を深めるため、材料としての木材の良さや、その利用の意義を学ぶ 教育活動として「木育」を推進。
- 林野庁補助事業により、各地域で木育を体験してもらう「木育キャラバン巡回事業」や「赤ちゃん木育広場・木育寺子屋」を実施。
- 木育キャラバン巡回事業については、平成22～23年度に、出雲、仙台、宮崎、横浜、沖縄、気仙沼、熊本で実施。
- 赤ちゃん木育広場については、地域の団体等に対し、研修や木育セットを提供して、それぞれが子供を対象とした木育を実施。また、同時に保護者向けに木の講習会「木育寺子屋」を実施。22年度は50団体・個人で実施し、23年度は30団体・個人に実施予定。



木育について② ～赤ちゃん木育広場（東京おもちゃ美術館）～

新宿区旧四谷第四小学校校舎を活用



市民フロア
Citizen Floor



おもちゃ美術館がやってくる！

グッド・トイキャラバンin横浜

(木育キャラバン)

2011

家族で楽しめるおもちゃとイベントがもりだくさん!!

会場には良質な木製のおもちゃでグッド・トイが大集合!
じかに触れて遊んで木のおもちゃの温もりと楽しさを感じてください。

2011年5月3日[火]・4日[水]・5日[木]

11時～17時(最終日5日は16時まで) 入場無料

場所: 横浜新都市ビル(そごう)9F 市民フロア

お問い合わせ: 045-465-2611(10:00～17:00)

開催内容

〈おもちゃ広場〉 日本全国・世界各地の質の高い木製のおもちゃを、じかに触れて遊ぼう!

〈手作りおもちゃ工房〉(参加無料) 決まりきったおまじないの手作りおもちゃをつくらう!

3日[火]の 第1部 はねとびのえび 第2部 トコトコお魚 1部1部 11:00～13:00/第2部 14:00～16:00
4日[水]の 第1部 トコトコお魚 第2部 絵画のあそび 第1部 11:00～13:00/第2部 14:00～16:00
5日[木]の 第1部 絵画のあそび 第2部 はねとびのえび 第1部 11:00～13:00/第2部 14:00～16:00
※材料がなくなり次第終了いたします。あらかじめご了承ください。

〈遊びのライブステージ〉 フランス生まれの魔法の箱「カブラ」やマジックショー、おまじないワークショップ、紙芝居など楽しさが溢れるイベントも盛りだくさん!



主催: 市民フロア会 協力: 認定NPO法人日本グッド・トイ委員会/東京おもちゃ美術館/神奈川グッド・トイ委員会/そごう横浜店

木材利用に係る環境貢献度の定量的評価（「見える化」）について

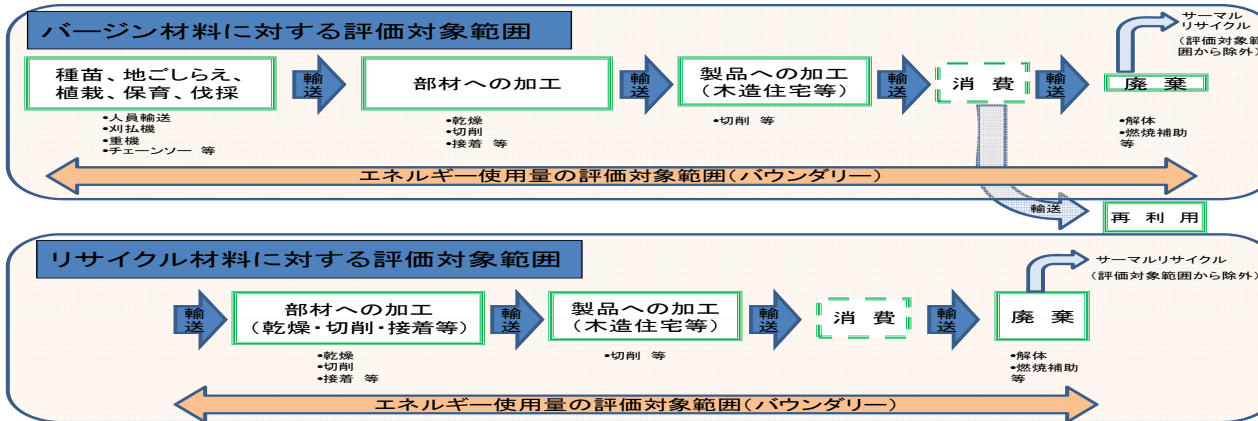
木材は、再生可能でカーボンニュートラルな資源であるとともに加工等に必要なエネルギーも低い「環境に優しい」資材であり、その利用を通じて「低炭素社会」の構築に大きく貢献することが可能。

木材、とりわけ国産材の利用に係る省CO2効果などの環境貢献を、具体的な数値データをもって評価し、広く国民に普及すること（木材利用に係る環境貢献度の定量的評価）が、木材の需要拡大の観点からも重要。

● 以下の3つの効果について木材利用に係る環境貢献度を定量的に評価

① 省エネ効果

省エネ資材としての「見える化」を導入するためには、LCA評価の考え方を導入



【例】

木製机を製造する際に排出されるCO2は、
 ○○で作った机に比べ、△△kg少ない（CO2
 排出削減に寄与）



② 炭素貯蔵効果

木材中の炭素貯蔵量は、木材重量の約5割

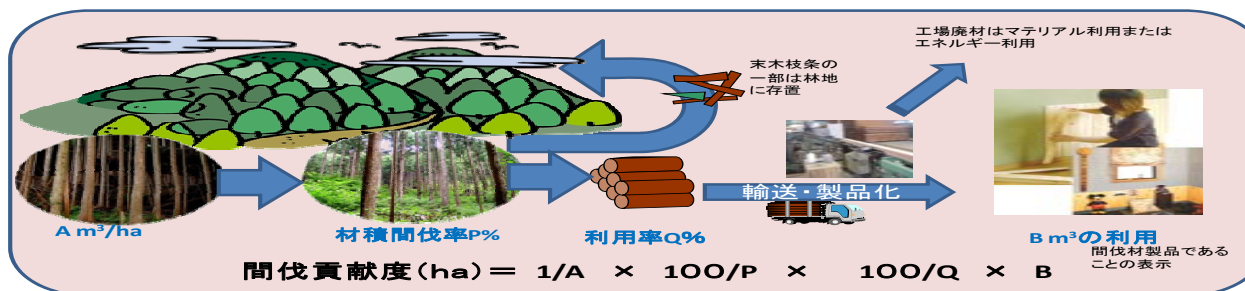
$$\text{木材重量} \times 0.5 = \text{炭素貯蔵量}$$

【例】

10kgの木製机は、CO2由来の炭素を5kg固定

③ 間伐材製品利用による 林地の間伐への貢献効果

使用した間伐材が、どの程度間伐（面積）に貢献しているかを評価



【例】

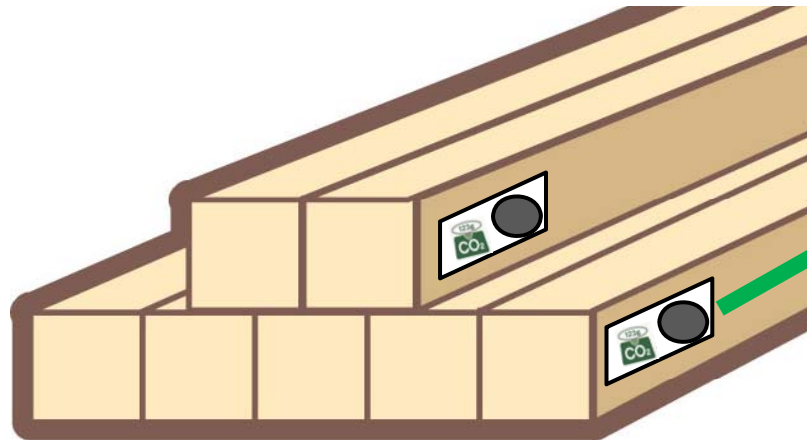
間伐材を原料とした10kgの机（スギ）は、
 14m2の森林整備（間伐）に貢献

カーボンフットプリント制度によるCO₂の見える化

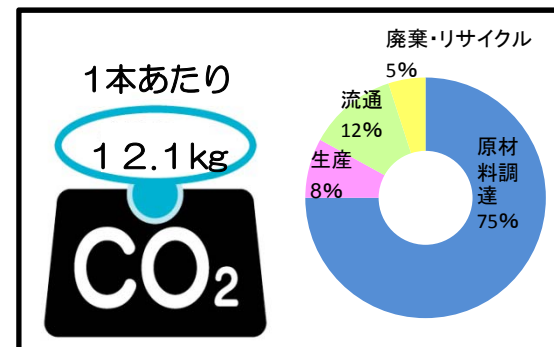
- カーボンフットプリント(CFP)とは、商品・サービスのライフサイクルの各過程で排出された「温室効果ガスの量」を合算し、得られた全体の量をCO₂量に換算して表示すること。
- 算定に当たっては、類似の商品グループごとに温室効果ガス排出量の算定基準(PCR)が必要であるが、製材、集成材、合板等の「木材・木質材料」、フローリング、木製雑貨等の「木製製品」については、平成23年3月に認定・公表。
(林野庁では、H23年度補助事業でCFPの算定支援を実施。)

木材分野におけるCFPマーク使用許諾製品 (H24年1月現在・CFP制度試行事業)

木材・木質材料：構造用合板14製品、合板4製品、集成材3製品、MDF2製品 計23製品
木製製品：日用品(ダストボックス)1製品 計1製品
合計24製品



表示例



〔CFPを表示することにより、各商品がライフサイクルにおいて排出する温室効果ガスの量を消費者に伝えることが可能となる。〕

木材の算定方法は？

カーボンフットプリントの算定に当たっては、類似の商品グループごとに温室効果ガス排出量の計算方法(商品種別算定基準:PCR)を定める必要がある、木材利用に関わるものとして、

①製材、集成材、合板等の「木材・木質材料」

②フローリング、木製雑貨等の「木製製品」

について、平成23年3月に認定、公表された。

今後、これに基づき、商品ごとのカーボンフットプリントが算定可能。

バージン材料に対する評価対象範囲

温室効果ガス排出量の評価対象範囲(バウンダリー)

種苗、地ごしらえ、
植栽、保育、伐採

- ・人員輸送 ・刈払機
- ・重機 ・チェーンソー 等



輸送

部材への加工

- ・乾燥 ・切削 ・接着 等



輸送

製品への加工
(木造住宅等)

- ・切削 ・組立 等



輸送

消費

輸送

廃棄・リサイクル

- ・解体
- ・燃焼
- ・埋立
- ・分別回収 等



輸送

再利用

京都議定書第2約束期間の伐採木材製品（HWP）の取扱い

- 伐採木材製品(Harvested Wood Products)とは、森林の外に運び出された全ての木質資源のこと
- 第1約束期間のルール(2008～2012年)
木材中の炭素は、森林の外に運び出された時点で、大気中に排出されたとみなし、排出量を計上する
- 第2約束期間のルール
木材中の炭素は廃棄された時点で、排出量を計上する(廃棄された時点は製材などの製品毎に半減期などから推定)
→廃棄されるまでは、森林で吸収した炭素を木材が蓄積・固定していることを評価

木材利用の気候変動を緩和する役割が国際的に認められた

【詳細】

- 輸出したものを含む国内の森林から生産された伐採木材製品が計上対象（輸入材は対象外）
- 伐採時に森林減少を引き起こしたものは即時排出※として計上
- エネルギー用途のものは即時排出※として計上
- 第2約束期間開始より前に伐採されたものも計上（第1約束期間に計上しているもの等は除く）

※ 即時排出：第1約束期間と同様に森林から搬出された時点で排出を計上する



違法伐採対策の強化

供給・需要の拡大と質的向上

【供給の拡大】

<国内>

供給者を対象とした研修等

<海外>

中国との覚書締結

1. 自国で伐採、加工、流通並びに輸出入される木材・木材製品の合法性証明の仕組みを構築し、合法木材・木材製品の貿易と利用を促進する。
2. 木材生産国の違法伐採対策を支援する。
3. 国内関係法令・制度や国際的な取組などについて、情報交流と能力向上を行う。
4. 供給・消費者サイドも含めた自主的取組や団体・企業等を含めた民間レベルでの交流を奨励する。
5. 上記の協力内容をレビューし、経験の共有などを進めるため、会合を行う。

今後は実務レベルで詳細を協議

【需要の拡大】

- ・木材・木材製品を調達する企業等に対する合法木材の普及
(セミナー開催、イベントへの展示)
- ・公共建築物等への合法木材の利用促進
(地方公共団体等グリーン調達の徹底)

木材の合法性等の表示を確保するための
仕組みの構築と実証事業の実施
(平成23年度補助事業)



平成24年度から実現可能な範囲で
表示の実施

- ・供給者・供給実績等を公表し、透明性の向上
- ・証明のモニタリング実施、アンケート調査

24年度補助事業(48百万円)を活用しつつ、事業者を対象とした研修会の開催、証明のモニタリングの実施などの供給体制整備、また、民間企業等を対象にした合法木材利用セミナーの開催等による需要拡大の取組を実施

目標: 合法木材供給事業者数8,114(22年度末)→8,500(27年度末)

木材の合法性等の表示に係る実証事業について（平成23年度補助事業）

1. 表示の実証

(1) 製品への表示実証

- ア) 実証ラベリング事業者の選定(24社30品目、製材、プレカット材、合板、化粧合板等)
- イ) 合法木材製品等へのマークの表示(9月～11月)
- ウ) 合法木材製品等の表示にかかる評価に関する調査(11月～1月)
- エ) ユーザーを対象としたアンケート調査・ヒアリング調査(11月～1月)

(2) その他

- ア) 他分野(有機農産物等)のラベリング実態調査(調査中)
- イ) 県産材ラベリング実態調査(調査中)



2. 事業効果の確認

- (1) 実証調査の中の輸入材原料調達に関する調査と関連し、当該輸入材の輸出国における合法性証明およびラベリングの実態を調査する。(米国、欧州、マレーシア、インドネシア)(調査中)
- (2) 展示会への出展
実証調査の事例を紹介するとともに、合法木材のPRのためエコプロダクツ展に出展する(12月)

3. 成果の普及

関係者への事業結果の報告(2月下旬)

表示例1(合板)



表示例2(製材)



(5) 人材の育成

平成22年度“木のまち・木のいえ担い手育成拠点”の取組状況について

伝統型技能による大工育成

- ・大工塾ネットワーク「杵人の会」・長野県建設労働組合連合会
- ・高知県中小建築業協会



大工等の施工技術者を対象とした、実技による技能習得や、講習による知識教育のためのカリキュラム作成等

国産材流通システムの構築

- ・サウンドウッズ
- ・愛媛県林材業振興会議



原木や地域材製品等の情報を需要者に提供する木材コーディネーターを養成するため、講習カリキュラムの作成や認定制度を構築

インテリア分野/木材加工分野の取組

- ・ユア・ホーム
- ・広島インテリア協議会



インテリアコーディネーターを対象とした、木材・木造の知識に関する講習。プレカット設計者を対象とした検定の導入等

大学等既存の教育機関による取組

- ・日本木材学会　・東京大学
- ・東京都市大学&工学院大学



大学の枠を越えて建築学科の学生等を対象とした、木造建築技術・知識に関する講座と実習を開催

(6) その他

木材産業の復旧の状況について

- 平成23年度第1次補正予算においては、「木材供給等緊急対策」として、早期に稼働可能な木材加工流通施設等の廃棄・復旧・整備や原木流通に対して支援。
- 木材加工流通施設の復旧については11箇所が対象となっており、復旧資材の早期の供給開始に向け着実に施設の復旧等が進行中。1月16日現在、9箇所で製品の生産・出荷を開始。

■木材供給等緊急対策(第1次補正)

- 1 木材加工流通施設等の廃棄・復旧・整備(補助率1/2)(53億円)
早期に稼働開始可能な施設の廃棄・復旧・整備 等
- 2 間伐材等の流通コスト支援(6億円)
 - ①被災地等の原木の流通コスト支援(補助率:定額)
 - ②港湾等に流出した木材の回収コスト支援(補助率1/2)



(事業実施箇所一覧:木材加工流通施設整備)

岩手県(3箇所)

- *【合板】 ホクヨープライウッド(株)
- *【合板】 北星(株)
- *【製材】 (有)マルヒ製材

宮城県(8箇所)

- *【合板】 石巻合板工業(株)
- *【合板】 セイホク(株)
- *【合板】 西北プライウッド(株)
- *【製材】 (株)山大
- *【製材】 (株)丸中材木店
- *【製材】 山孝木材(株)
- 【製材】 丸平木材(株)
- 【製材】 (株)幸田屋商店

* :12月15日現在、既に生産・出荷開始

(セイホク 震災後、合板初出荷の新聞記事)

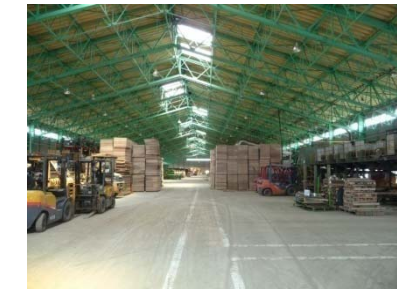


7 / 27 日刊木材新聞 8面

合板工場の建屋の復旧状況(石巻合板工業(株))



合板工場の内部の状況(西北プライウッド(株))



合板工場の内部の状況(ホクヨープライウッド(株))



応急仮設住宅への地域材の利用

岩手・宮城・福島の3県をはじめ、地震の揺れや津波で、海岸近くの多くの住宅が被災。

①被災者向けに応急仮設住宅を建設。

②その中には、地域の工務店などが、地元の木材を使って建てたものもあり、地元の雇用が増えるなど、復興支援としても役立っている。

地元の「気仙スギ」を用いた木造仮設住宅
(岩手県陸前高田市、住田町)



柱や梁などの構造材のほか、壁や床などの内装にも木材を利用



ログハウスタイプの仮設住宅
(福島県二本松市)



高齢者等に配慮した木造仮設住宅
(岩手県田野畑村)



木造仮設住宅の骨組み



バリアフリー化するため、玄関前にスロープを設置